

C. K. 英語英文学科・3 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

中学生、高校生の頃に 3 週間オーストラリアに短期留学した際、いつか長期留学をしたいとぼんやり考えていました。コロナの影響で諦めていましたが、クラスメイトが留学に行くを知り、本格的に準備を始めました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

- ・ TOEFL のテスト勉強

TOEFL の授業を履修しました。また、私はライティングが苦手だったので個別で教授に添削していただきました。

- ・ 英語を話す機会を作る

オンライン英会話や独り言で毎日英語を話し、慣れるようにしました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

- ・ 英語の勉強
- ・ ビザ申請手続き
- ・ 予防接種

上記の 3 つを並行しながら準備を行ないました。ビザ申請のための書類作成や手続きに時間がかかったので早めに取り掛かるのがおすすめです。予防注射も何本も受けないといけないため 2 回に分けて受けました。その他、両大学に提出する書類も沢山あったので、その期間は締め切りに追われていました。旅券は友達と同じ便を取りました。帰国時のフライトはいつでも何度でも変更できるので、往復チケットをおすすめします。

④ 現地到着後

シャーロットビル空港に到着したのが深夜だったので近くの Double Tree by Hilton Hotel に一泊しました。ホテルまでは 24 時間運行のシャトルバスがあるので空港に到着後、電話して迎えに来てもらいました。翌朝、MBU の先生にホテルまで迎えに来てもらいました。学校までは 1 時間くらいでした。学校到着後、アンバサダーの学生が出迎えてくれました。1 週間位オリエンテーション期間があり、アンバサダーの学生と他の留学生と一緒に過ごしました。オリエンテーションではキャンパス案内、寮の使い方、履修の組み方を教えてもらいました。隙間時間にダウンタウンを散策して一緒にご飯食べました。とても優しくて学食と一緒に食べたり、いろんなところに遊びに行ったりして、大切な友達になりました。

⑤ 語学研修期間

◆ 授業内容、課題、試験

語学研修はありませんでした。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

全体的に綺麗でした。

◆ 履修科目

・ COMM 280 INTERCULTURAL COMMUNICATION

世界のさまざまな問題(貧困、差別など)や文化について学びました。学生参加型の授業スタイルなので発言する機会が多く、留学生として日本はどう？と質問される機会も多かったです。また、さまざまな背景を持つ学生がいたため違いを知ることが面白かったです。エッセイの課題が多かったです。

・ COMM 100 PUBLIC SPEAKING(COMM 100 LAB FOR COMM 100)

プレゼンを基礎から学びます。Public Speaking は基本的に講義形式です。時々、教授の知り合いが来校してプレゼンの見本を見せてくれました。講義で学んだことを用いて Lab の時間にプレゼンをしました。プレゼンはテーマが設定されていて、スクリプトとパワポを作成して一人で行います。毎週のようにプレゼンをするので前に立つことに慣れました。

・ AS282A ASIAN AMERICAN COMMUNICATIONS(D)

日本、韓国、中国、ベトナムなどアジア人がアメリカに移住してからどう過ごしたのか、迫害をどう乗り越えたのかを国別に学びました。毎回 10 ページ以上の文章を読み、各国の講義が終わるとまとめのエッセイを書きました。

・ FILM 119A INTRO TO FILM/VIDEO PRODUCTION

講義はカメラの操作方法や照明、マイクなどの説明がありました。課題は個人課題とグループ課題に分かれています。他の学生は Film 専攻の方が多くて想像していたよりも本格的な授業でした。脚本、撮影、編集まで全て自分たちで行い、とても難しかったですが楽しかったです。映画やドラマの裏側を学ぶことができるのでおすすめです。

・ JPNS 380 BEGINNING JAPANESE 101(Teaching Assistant)

ティーチングアシスタントとして参加しました。20 人ほどの学生がいて、日本に興味のある学生が多いので仲良くなりやすかったです。授業に参加して学生たちの質問に答えることと課題の丸つけをしていました。また、授業外に個別レッスンをして欲しい学生がいたのでサポートをしました。

◆ 授業、レポート、定期試験

授業はディスカッションやプレゼンが多いです。授業中に何度も質問が投げかけられたり、グループワークを何度も行ったりしました。授業は週 2 回行われるものが多く、予習と課題の締め切りに追われていました。締め切りの前には夜中まで図書館にこもっていました。量が多く辛い時期もありましたが、友達と同じ授業が多かったので助け合いながら行っていたので乗り越えられました。初めの頃は授業についていけない部分があったので、授業後

個別に質問したり、課題の締め切りを延ばしてもらったりといった対応をしていただきました。優しい教授が多いので、ついていけない時は留学生であることを伝え、全面的に頼ることをおすすめします。定期試験はレポートが多かったです。時期が近づくと先生が授業中に情報を開示してくださるので、注意深く聞いておいた方が良いでしょう。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

乗馬クラブに入部して毎週日曜日に厩舎に行き、馬の掃除や乗馬をしました。3回掃除したら乗馬体験ができるシステムでした。周りの学生が幼少期から乗馬していた人が多かったのでみんなに教えてもらいました。初めての乗馬は少し怖かったのですがとても楽しかったです。過去の体験レポートから COSMOS という国際交流サークルに入部する予定でしたが、活動を休止していました。現在は Voices of Cultures という名前で活動しているようです。

⑧ 現地での住まいについて

基本的に寮生活で、大半の留学生が一緒に寮に住んでいたのが安心でした。トイレやシャワーは共有なので衛生面的に気になる部分がありました。ご飯は大学内の食堂で、土日含めて1日3食、食べることができます。(入学前に学食利用回数を選びました。) 食堂のご飯は美味しいものが多かったです。アジア料理のコーナーが設備されていて、お寿司や揚げ餃子、ラーメンなどが用意されていました。ドリンクバーやサラダバー、スープも充実しています。ウォーターサーバーもあったのでお味噌汁や緑茶を飲みたくなった時に利用していました。また学生証に\$50が入っているので校内のカフェで利用していました。スタバが入っているので友達と休み時間によく買っていました。寮から教室までは3-5分ほどだったので朝はゆっくり過ごしました。

⑨ 長期休暇の過ごし方

Fall break は留学生同士でシカゴに旅行しました。風が強くとても寒かったですが、フェリーで夜景を見たり美術館に行ったりしてとても楽しかったです。Thanksgiving はホストファミリーの帰省に同行してノースカロライナ州に行きました。日本のお正月のような雰囲気、親族一同が集まる中に入れていただきました。この期間は子供達と一緒に遊んでとても楽しかったです！伝統料理が食卓に並べられて食前に一人一人感謝を述べました。アメリカの文化に触れることができてとても貴重な経験でした。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

留学前から就職活動を始めていて、サマーインターンが少し残っていたのでアメリカで受けていました。その後は選考が進んでいる企業だけ受けました。基本的には図書館の個室で受けていましたが、個室が埋まっている時は空き教室を探して受けました。また、時間によっては図書館や教室が閉まっている場合があるので、寮のキッチンやフリースペースで受けました。長時間のインターンは昼夜逆転するので、想像以上にしんどかったです。留学前

にインターンを受け終えるか、時差を考えて応募する事をお勧めします。また、就職活動で留学の経験を話せるように日記をつけていました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

友達と過ごした日々です。ダウントウンに遊びに行ったり、スタバで話したり図書館で課題と向き合ったり。優しく思いやりに溢れている人が多くて素敵な方々でした。毎日刺激を受けて辛い時も励まし合いながら過ごしました。初めはお互いが探り探りでしたが、徐々に壁がなくなり、仲良くなっていることを日々実感しました。特に覚えていることは、毎日ルームメイトと寝る前に話したことです。その日にあった辛かったことや面白かったこと、恋バナなどを毎日話しました。お互いおしゃべりなので気がついたら 1 時間以上経っていたこともありました。ルームメイトとの距離をグッと縮められて、英語を話す練習にもなったのでおすすめです！

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

渡航直後は授業と課題にとっても苦勞しました。予習やレポートの量が日本と比べてかなり多く、授業中の発言量も多かったので慣れるまでに時間がかかりました。また、複数人との日常会話では、話すスピードが速くてついていけなかったり、話に入ることができなかったりした時期もありました。スピードは徐々に慣れます！スラングはほとんど知らなかったもので、毎回聞いたり調べたりしました。私は途中から開き直って分からないことは全部聞いていました。話を折ってしまうこともありましたが、嫌な顔せずに説明してくれたり、簡単な言い回しにしてくれたりして、とても優しく対応してくれました。また、風邪をひいて体調を崩した時は孤独を感じました。周りに移したくなかったのでひたすらベッドに横になっていました。留学中、頑張ることはとても大切ですが、時々息抜きして自分のペースを保つことが大切だと思います。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

トイレの扉に隙間があり、完全に閉まらないことに驚きました。扉には外から見えるくらいの隙間があり、下もくるぶしが見えるほど空いています。また、平日からパーティーを部屋で開く学生が多いです。壁が薄いので音楽が聞こえてきて寝付けない夜もありました。フレンドリーな方が多く、すれ違う時に声をかけてくれたり服を褒めてくれたりする方が多かったです。最初は戸惑いましたが、素敵な習慣なので真似するようにしました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、小規模のクラスが多かったので友達を作りやすく、また先生にも覚えてもらいやすかったです。課題の面で手助けが必要な場面が多かったので、周りの人に助けを求めやすかったです。悪かった点は、田舎なので車がないと移動が不便な事です。外食やお買い

物の時は、車を持っている友達に連れて行ってもらいました。何度もお願いするのも気が引けたので、たまにバスを使っていました。バスは時間通りに来ない印象です。乗る予定だったバスが予定時刻よりも早く出発してしまい、次のバスまで待ちぼうけすることもありました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必須です。課題は全て自分のパソコンで行いました。肌に触れる化粧水や乳液と常備薬は一式日本から持参しました。服は 1 週間分くらい着回しできるものを持っていきました。日用品や服は現地でも購入可能のためこだわりのない方は現地調達でもいいと思います。特に役に立ったものは 3 点あります。1 点目は濡れても良いサンダルです。外出用とは別に部屋用とお風呂用のスリッパとサンダルを持参しました。お風呂用はクロックスのような水が中に溜まりにくいものをお勧めします。2 点目が旅行用の使い捨てスリッパです。旅行先は基本的にスリッパがなかったです。持っていない友達はシャワーの後に外出用の靴を履いていました。気になる人は荷物にならない薄めのスリッパをお勧めします。3 点目は充電式のカイロとモバイルバッテリーが一体になっているものです。現地の冬はとても寒かったです。使い捨てのカイロを現地で買うこともできますがコスパを考えて充電式のものを持参しました。また、モバイルバッテリーの役割を兼ね備えているので旅行先には必須アイテムでした。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力は全体的に向上したと思います。特にリスニングやスピーキングが伸びました。初回の授業では先生の言うことが聞き取れなかったり、友達の話すスピードが早くて聞き取れなかったりしたことが多かったですが、だんだん速さに慣れて理解できるようになりました。授業は参加型が多く、意見を言う機会が多かったので伝える力も向上したと感じます。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

少しでも興味があって迷っているなら行くことをお勧めします！長期間、異国で暮らすことは辛いこともありますが、楽しいこともあるのでとても良い経験になると思います！出発するまでは準備が大変で不安もありましたが、行って大正解だったと思います！

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

今後の進路は具体的には決まっていません。培った語学力をさらに向上させることと、留学で得た経験や考えを大切にしたいと考えています。留学経験が将来の選択幅を広げてくれました。

V. 写真



シカゴに旅行に行った時の写真です。苦楽を共にした大切な友達です。



乗馬クラブの写真です。最初は怖かったですがだんだん慣れてとても可愛かったです！



学校主催のプログラムでパーティー
の写真です。



プログラム終了前に留学生とアンバサダーの学生でパーティーをしました。



ホストファミリーとの写真です。週末や長期休暇を一緒に過ごしました。

M. S. 英語英文学科・3 年次生**I. 留学レポート****① 協定留学を目指した理由**

私が留学を考え始めたのは、大学に入学する前のことです。高校 1 年生の時、1 か月間アメリカ・ボストンに留学したことがあり、その留学経験があまりにも楽しかったため、大学では長期留学をしたいと思っていました。また、大学 2 年生から AES コースに入ったことも留学する 1 つのきっかけだったと思います。AES コースには英語力が高い学生はもちろん、英語学習への意欲が高い学生がたくさんいて、このような学生と授業を受けていく中で、もっと自分の英語力を伸ばしたいと思うようになり、2 年生の春、留学を決意しました。AES コースでも、ネイティブの先生方に必修科目を中心に授業をしていただけるので、十分に英語力を伸ばせると思います。しかし、私はもっと英語に触れる機会を増やしたい、もっと自分の英語力を磨きたいと思うようになり、留学への思いが強くなりました。また、AES コースに身をおいたことで、周りから良い刺激・影響を受けたと同様に、留学することで、自分をさらにパワーアップしたいと思い、留学をしました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

私は留学出願の際、IELTS のスコアを提出しました。1 つ上の先輩に、おすすめの IELTS 参考書や単語帳を教えてくださいました。私が使用していたものは、「IELTS ブリティッシュ・カウンシル公式問題集」と「実践 IELTS 英単語 3500」です。IELTS のスピーキング対策として、国際課が実施している英会話に参加したり、レアジョブ英会話をほぼ毎日 25 分受けたりして対策していました。ライティングに関しては、国際課が実施しているライティング添削の先生やライティングクラスの先生に添削してもらうことをおすすめします。また、リスニングやリーディングセクションにおいては、1 つの参考書を何度も解くのもいいですし、ディクテーションやシャドーイングをして、リスニング力を鍛えるのもいいと思います。また、大学の必修科目の授業を全力で取り組むことも、IELTS 対策につながると思います。

③ 留学決定から出発までの準備期間

留学が決まってからは、とにかく大学の必修科目をそれまで以上に頑張ること、留学を意識して授業中はできるだけ発言するように意識していました。また、レアジョブ英会話をほぼ毎日 25 分行い、国際課が行っているチャットルームに週 1 回参加していました。それ以外には、TOEIC を受験することで英語学習への意識を高めていました。ビザについては、6 月ぐらいから準備を始めました。ネット申込時の書類記入がとても大変でした。私はビザを申請するのが遅かったですが、ビザは早めに申請しておいた方がいいと思いました。というのも、ビザ申請の為の面接日程調整が難しかったことや、円安が進んでいたことがあったからです。

④ 現地到着後

現地には、真夜中に到着したため、空港近くにあるホテルで1泊しました。ホテルの方が空港まで迎えにきてくださり、友人と1晩一緒に過ごしました。次の日の朝、MBUの教員の方が迎えにきてくださり、1時間くらいかけてやっとMBUのキャンパスに到着しました。キャンパスに到着すると、現地の学生が温かく出迎えてくださり、ホッとした気持ちになりました。また、寮の部屋まで荷物を運んでくださったり、家具の位置を変えてくださったり、足りない生活用品（シーツや枕など）を買いにWalmartに連れて行ってくださったり等、あらゆることまで手伝ってくださいました。到着してから一週間、オリエンテーション期間でした。新入生の入学式やワシントンtripなど様々なイベントがあり、緊張しながらもとても楽しかったです。また、キャンパスで食べる食事がどれも美味しく、好奇心もありつつ、たくさん食べたこともあり、ニキビが大量にできたことをとても覚えています。

⑤ 語学研修期間

語学研修はありませんでした。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

寮はキャンパス内にあるので、講義が主に行われる校舎から近く、とても便利でした。また、キャンパスが静かな街に位置していることもあり、静かな環境で勉強することができました。キャンパス内では、セキュリティのため、警備員が見守ってくださっていたので、安心したキャンパスライフを送ることができました。

◆ 履修科目

・ Issues in Asia

アジア圏における国々の歴史、政治、文化や社会問題について学習しました。具体的には、日本、カンボジア、中国、朝鮮、インド、モロッコについて学びました。アジアにとっても関心があったので履修しました。

・ College English

Writingの授業で、カンマ、コンマ、セミコロン等の使い方、レポートで使用しなければならない正式な文の書き方について学習しました。より詳しく学べるので、レポート作成にとっても役立つと思いました。

・ Public Speaking

プレゼンテーションの仕方や原稿の構成について、講義や3回の小テストを通して学びました。また、プレゼンテーションを3回程、スピーチを2回程しました。現地学生の前で行う発表は緊張しますが、とても達成感がありました。

・ Social Inequality

科目名の通り、社会におけるさまざまな不平等について学習しました。授業形態は主にディスカッションで、他の学生との意見交換や教授の質問に答えるものでした。

・ YOGA

寮から歩いて 10 分程の所にある体育館で行われていました。ヨガの先生のお手本を見て、真似るといふ繰り返しでした。とてもリラックスできるので、気分転換になると思います。

・ **Intermediate Japanese**

授業では主に、授業の最後に行われていた日本語での会話に参加し、補助をしながら学生と日本語でのコミュニケーションを楽しんでいました。また、学生の課題を確認や評価をし、自分なりのアドバイスを付け加えていました。

◆ **授業、レポート、定期試験**

・ **Issues in Asia**

小テストは定期的に行われ、レポートは 1 ページから 3、4 ページ程度でした。予習として、2 冊本読みました。とても時間がかかりましたが、リーディング力が伸びると思いました。

・ **College English**

授業の予習や課題が定期的に行われました。レポートは 1 ページから 3、4 ページ程度でしたが、最終レポートに関しては 7 ページ程ありました。参考文献の書き方やレポートの書き方についてとても勉強になりました。

・ **Public Speaking**

主に、プレゼンテーションと小テストが評価基準でした。プレゼンテーションは、2 週間程前から原稿作成、パワーポイント作成に取りかかり、隙間時間に暗記や練習をしていました。本番前は友人の前で練習することをおすすめします。

・ **Social Inequality**

ディスカッションの参加度やレポートを主に評価されました。レポートに関しては、授業で行われたディスカッションの内容、教科書の理解度や自分の経験・意見などが求められました。

・ **YOGA**

テストは 2 回行われました。授業で習ったポーズを口頭で説明しながら先生の前ですするというテストでした。ポーズを説明する文章を作成し、それを覚えながらポーズの練習をして本番を迎えました。

・ **Intermediate Japanese**

テスト等の採点はなく、学生の課題を確認し、課題の評価をすることが主でした。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

特定の部活に所属していませんでしたが、日本が好きな学生が集まるクラブに遊びに行ったことがあります。その際、英語バージョンの「千と千尋の神隠し」を鑑賞しました。また、アメリカにおける秋学期は新入生にとって新学期だったこともあり、ダンスや乗馬をはじめとする部活の新歓にも参加しました。留学前は、部活に入ってより多くの学生と仲良くなりたいと思っていましたが、実際留学してみて、現地の授業と課題が予想以上に大変だったので、部活入部は断念しました。

⑧ **現地での住まいについて**

寮は MBU が決めていました。寮での生活を申し込むフォームで、自分の生活習慣や性質についてのアンケートに回答しました。おそらく、そこからルームメイト等が決まります。寮の部屋はとても広く、天井も高く快適な生活が送ることができました。寮にはランドリー、シャワー室やトイレ、キッチン、冷蔵庫が備えつけられていました。現地の学生の中には、食堂を利用する人もいれば、寮のキッチンで購入してきた食材を使って料理し、寮で食べている学生もいました。食堂における食事に関しては、ハンバーガー、ポテト、パンケーキ、ワッフル、中華料理、お寿司、パスタ等で、ドリンクバーやサラダバーもありました。通学については、寮の目の前に講義が行われるメインの建物があるので、とても短時間で行き来することができます。

⑨ 長期休暇の過ごし方

10 月の連休には、他の留学生と一緒にシカゴ旅行をしました。銃や大麻が出回っているアメリカでの旅行は、とても不安でいっぱいでしたが、心強い友人と一緒にだったので、楽しい旅行になりました。シカゴ大学をはじめとする観光地を巡り、とてもわくわくしました。海外はどこを見ても、どこを通っても、すべてがきらきらして見えました。シカゴ旅行で一番印象的だったのは、現地のオーケストラを鑑賞したことです。日本のオーケストラとは違う感動や凄さがありました。みなさんもぜひ、アメリカで演奏会やミュージカルを見てみてください。11 月には、金曜日から日曜日にかけてワシントンを観光しました。ワシントンには多くの歴史ある建造物等あり、とても見ごたえのあるものばかりでした。私がおすすめしたいのは、ワシントンにある航空宇宙博物館です。規模の大きさや技術発展の目覚ましさに圧倒されました。アメリカで観光したのはこの 2 州ですが、旅行する際は、早め早めに交通機関のチケットを取った方がいいと思いました。というのも、旅行日 2、3 週間前に電車や飛行機のチケットを買いと大変値上がりしていたため、とても損だったからです。できる限り、早めの計画と早めのチケット等の購入をおすすめします。長期休暇、私は友人と旅行に行っただけではなく、サンクスギビングという、休日にホストファミリーのお家に滞在させてもらうものに参加し、ホストファミリーと一緒に祝いさせていただきました。ホストマザーの美味しい手料理を味わいながらも、ホストファミリーとたくさんお話ができて、とても良い思い出になりました。また、この滞在中はよりリラックスでき、それまでの疲れが吹き飛んだ気がしました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

大学卒業後、大学院進学を考えているため、留学中の就職活動は一切行っておりません。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

とにかく、大好きな英語をたくさん聞いて話して、現地の学生をはじめとするアメリカ人とコミュニケーションが日々できたことが楽しかったです。また、この留学を通して仲良くなった、現地の学生、ホストファミリーや他の留学生との時間はどれもかけがえのない思い出です。MBU で生活し始めた 8 月と 9 月は特に、慣れない環境と習慣で、不安な気持ちと疲

れでいっぱいでした。しかし、朝食から夕食まで、現地の学生や他の留学生とおしゃべりしながら食べるご飯は美味しく、これが日々の癒しになっていったように思います。この留学において、ホストファミリーとの出会いは私にとって重要だったように思います。ルームメイトであった台湾人に紹介してもらい、彼らと出会うことができました。週末には、ホストファミリーのご自宅にお邪魔させていただいたり、美味しい飲食店や衣服屋に連れて行っていただきました。また、サンクスギビングでは、ホストファミリーのご自宅で一緒に祝いさせてもらい、とても充実した連休だったのを覚えています。ホストマザーの美味しいご飯をホストファミリーとおしゃべりしながら食べたり、映画を一緒に見たりして本当に楽しく、キャンパス生活の疲れがとれたくらいリラックスさせていただきました。さらに、週末はホストファミリーだけではなく、仲良くなった他の留学生とシカゴやワシントンに行き、観光した思い出も、私にとって大切な宝物です。たまには、キャンパスを離れ、現地で仲良くなった友人やホストファミリーと過ごすことは、留学を乗り越える上で大切だと思いました。

② 留学中でつらかったこと最も苦労したこと

まずは、現地での授業や日々の課題をこなすことが大変でした。現地の学生やアメリカ人と比べ、明らかに課題をこなすのに時間がかかったと思います。しかし、1つ1つの課題や発表に手を抜いたことは決してありません。レポートにしても、現地の学生に見てもらい、アドバイスをもらうなどして助けていただきました。プレゼンテーションに関しては、原稿を現地の学生に添削してもらい、発表前日には他の留学生や現地学生に見てもらい、指摘してもらってから、本番を迎えるようにしていました。すべてのことを丁寧に着実に取り組むことは、留学だからこそ余計に大変でした。一方で、やりがいとはとてもありました。英語を勉強するやりがいや達成感は日本の大学以上だと思いました。勉強面で大変だったことはこのくらいですが、留学中はホームシックで悩まされていた時期もありました。留学をした当初は、日本にいる家族、友だちや愛犬が恋しく、早く日本に帰りたいと思っていました。しかし、この留学で出会えた素敵な仲間の存在のおかげで、寂しさは少しずつ薄れ、MBUでのキャンパスライフを全力で楽しめるようになりました。一緒にご飯を食べる時間、キャンパスの周りを散歩したり、写真を撮ったりなど、彼らと過ごした時間は今思うとかけがえのない時間でした。そんな友人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

アメリカ人は日本人と比べ、人目を気にすることなく、自由奔放で幸せな人が多い印象です。アメリカで数か月生活してみて、やっぱり日本の方が良いなと思うことはもちろんたくさんありました。例えば、食事、マナー、お風呂などがあります。食事に関しては特に、アメリカのご飯は味が濃いものが多く、日本食がとても恋しくなりました。マナーに関しては、同じ寮に生活する学生が賑やかで、夜寝られないことがたまにありました。また、トイレやシャワーの使い方が悪く、不快な気持ちになったことは多々ありました。これは共同生活において必ず起こり得ることなので仕方がないかもしれませんが、あまりいい気持ちにはな

りませんでした。しかし、現地の学生は気遣いや優しさに溢れている方が多い印象でした。寮にあるキッチンでクッキーを焼いたからと言って、私にクッキーを分けてくれました。また、自分の前を歩いていた学生がドアを開けて、自分が寮や校舎に入るまで待っていてくれる人が多かったように思います。このように、日本ではあまり見られない隣人への優しさに心が温まったと同時に、自分も彼らを真似して実践していきたいと思いました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点：小規模な大学だったので、穏やかでゆっくりとしたキャンパスライフが送れました。また、食堂のご飯はとても充実していました。毎週お寿司や海鮮丼があり、たまにラーメンもありました。キャンパスはとてもどかな街に位置していたので、空気や景色がとてもきれいでした。キャンパス内を歩いていると、リスやうさぎを見かけることもあり、とてもわくわくしました。キャンパス付近にある小さな街には、おいしいハンバーガー屋やアイスクリーム屋などがあり、気分転換したい時にとってもおすすめです。履修科目が主に行われていた校舎と寮や食堂がとても近く、便利でした。また、学内のイベントがたくさんあり、とても充実した生活が送れました、たとえば、映画や演劇の鑑賞、ダンスパーティー、ピクニック、りんご狩り等がありました。勉強だけではなく、遊びも充実できる大学だと思いました。留学生を支援してくださった学生がとても親切で、心強かったことも利点の 1 つだと思います。困った時、その学生に連絡すると、すぐに駆けつけてもらい何度も助けてもらいました。

悪かった点：二人部屋だったので、気を遣いながらの生活は少し大変かもしれません。お互いの寝る時間が異なっていたことは、結構大変でした。また、食堂のお皿やコップが日本と比べ、きれいに汚れがとれていなかったので少し気になりました。体育館やカフェ等が寮から離れていたことや、キャンパス内には坂が多かったことが少し不便でした。キャンパス付近に小さな街があるものの、生活用品が多く備わっている Walmart や Target はキャンパスから離れているので少し大変だと思います。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

個人的に、片頭痛や生理痛がひどかったので、ロキソニン等の痛み止めはとても役立ちました。留学中は風邪引きませんでした。風邪薬も一応持って行く方が良いと思います。私は持っていきませんでした。心配な方は酔い止め薬も持って行った方が良いかもしれません。というのも、現地の方の運転や国内線の飛行機で酔ってしまったからです。また、生理用ナプキン、洗顔料や化粧類は日本から持って行って良かったなと思いました。寮で使用するお風呂用のスリッパ、洗濯ネットや部屋用スリッパも必要だと思います。勉強類に関しては、パソコンや電子辞書はとても役立ちました。食べ物に関しては、日本食を少し持つていくと良いと思います。たとえば、レトルトの味噌汁やお茶、お菓子等がおすすめです。これらは現地の人へのお土産にもなりますが、私は別に日本ブランドのリップ、サンリオのグッズ、扇子、コースター等を持って行き、仲良くなった現地の方にプレゼントしました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

英語力はもちろんのこと、人間性も成長したように思います。家族をより大切に思うようになり、特に母親の苦勞を低減するためにも、できるだけ自分のことは自分でこなすこと、母親の手伝いをもっとするようになった気がします。留学前は、母親に任せ、頼ってしまっていたことが多かったですが、留学後は自分のことは自分でする意識や母親を思いやる気持ちが高まったような気がします。また、留学を通して、大変だった日々の授業、課題や発表をやり遂げたことで、大きな自信と達成感でいっぱいです。何事も全力で向き合い、最善を尽くしたからこそ、留学での学びは私にとっての財産になったと思います。語学力に関しては、リスニング力やリーディング力が改善されたような気がします。授業で出された膨大なリーディング課題や毎日のように聞いてきた英語量のおかげだと思っています。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は本当に大きなチャレンジだと思います。大学入学前から留学したいと思っていた私が実際にしてみて、留学の大変さとともに、留学することのすばらしさを知れたように思います。両親や友人と離れて生活する寂しさ、海外で生活する不安、授業や課題の大変さなど精神的に負担を感じることはあるかもしれませんが、しかし、留学する目的を常に忘れず、最後まで精一杯やり遂げることが大事だと思います。留学を考えている皆さん、ぜひ留学に挑戦し、たくさんの経験、さまざまな感情に出会い、自分自身の成長のために頑張ってみてください。陰ながら応援しています。

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

大学卒業後は、専門職大学院に進学し、新たな道に進もうと思っています。大学院でも将来希望している職でも英語を使用するため、これからも英語学習を日課として取り組んでいきたいと思っています。

V. 写真



シカゴ旅行の写真です。



ホストファミリーと過ごしたサンクスギビング。



ドレスアップしてパーティー。



ハロウィン当日、ルームメイトと写真撮影。

2022 年度（秋スタート・1 セメスター）

Mary Baldwin University



留学生と最後の晚餐。みんな仲良く、お別れが本当に悲しかったです。

N. M. 英語英文学科・3 年次生

I. Study abroad report**① The reason I decided to go to study abroad**

The reason why I decided to go to study abroad is I wanted to try something new. A lot of things that I tried like even to go outside and to hang out with my friends have been restricted by Covid-19 since I entered the university. Then, I thought probably I graduated without any special kind of experiences, also, I just didn't want to stay in normal life and didn't want to say I couldn't do anything because of Covid-19. Also, I wanted to experience studying abroad before getting job for a long time because I was interested in listening to Western music, watching Western movies on Netflix and ofc studying English since when I was a junior high school student. So, I immediately started preparing for going to the U.S. By the way, I really wanted to go to the country where the common language is English, and I just wanted to go to California Disneyland, NY, and Boston something like that, so I decided to go to the U.S. The exact time I started to prepare is when I was Sophomore in Summer. The reason is because I wanted to apply Spring semester program for studying abroad to stay as long as I could. It means that I stayed in language school from February to August as semester program, and after that I moved to another university in different state. It is the best way to go to study abroad with semester and exchange program if you want to try like this kind of style because it is easy to move on and to get used to lifestyle even though you'll change to different school.

② How to study English from the time I applied to the time I left Japan

Before leaving from Japan, I mainly studied for IELTS to get the passing score. I think IELTS is quite good way to improve English four skills because especially you can try how much I can speak English. Basically, it is hard for me to improve speaking skill at college because they don't have speaking test without script, so you don't even know how much my speaking skill is and don't even have the chance to know your skill. That's why studying IELTS is better method, but it's expensive tho, also it's difficult a bit for me to take than TOEIC students take regularly because the test style is not scantron sheet, but you need to write the answers on the computer. Also, I watched movies that I like on Netflix with English subtitle and I made use of the chatroom that we can take any time after applying, and then made rooms to talk with native English speakers

③ How to prepare the necessities for studying abroad

It is really complicated for me to get the student VISA because it takes a lot of time to get the all process, so I think it is better to check how to get it before a while. Firstly, the most important thing is to check when your passport is expired!! The period is you can use it until you come back to Japan!! Normally, most students already knew it, but I made a big mistake when I turn in my passport to my university. It's the passport that I already turned in has already expired when I come back, but fortunately, my adviser realized about it before she sent it to the university in the U.S., so I got it because of her☺ So, you need to check it out before it happens this kind things. Regarding to the VISA, it costed a lot than I expected, but it's better to follow the website

written how to apply it, also you can call the customer service if you got some troubles. Also, you can ask your friends, me and other students who already knew about it.

④ After I arrived at the University

The way to the university is by taxi because I stayed in the different school in the U.S. and I couldn't arrive there on time, but my friends arrived at the hotel near airport before the orientation of the university, and advisers of the university picked them up. It takes one and half hour by car to the university from airport. After you arrive, the advisers guide you to the campus. Mary Baldwin University is pretty beautiful, but the location is rural than what I expected, so it's really hard to go somewhere like on weekends.

⑤ About the classes that I took

• COMM 280 Intercultural Communications

This class is : To establish a basic understanding of the role of culture and the complexity of the communication process across cultures. To understand the link between culture and perception, languages and nonverbal communication, how world views shape people, and the importance of developing flexibility and tolerance when communicating across cultures. To learn theories, strategies, and concepts to assist in improving intercultural communication.

To provide you with an opportunity to put into practice the concepts learned in this class by having you research and respond to a brief with regard to cultural communication.

We often watched some videos at the beginning of class, and then we discussed about it with each group. There are paper tests on Midterm and Final exam, but no worry because the teacher is so kind, and she already knew we are international students, so she gives me a lot of times for the test and she told me you could use dictionary when you got some words that you didn't know. Regarding to the assignment, we need to turn in discussion like 200-300 words about topics that the teacher gave us. This is not big deal, but sometimes we need to submit essay like 4 pages at word.

• Management Principle

The course provides an overview of traditional management theory and practice and the growing literature on contemporary management. The content is focused on concepts and terminology as well as case studies that provide the student with opportunities to read about and examine real-life applications. Furthermore, the subject material highlights the principles and practices of sustainable business management from both a strategic perspective and an application-oriented perspective. There will also be a focus on communication skill development, as appropriate for business settings and contexts. We discussed about the topics that the teacher gave with each group, but sometimes the contents was difficult a bit because I didn't know about economy and management theory. This is also no worry because the teacher who is from Korea speak English slowly is kind and the students who take also are nicely. Regarding to the assignments and the test, we need to write essay with 5 pages at word at least 2 times in a month. Also, we need to do presentation with pair or myself, so I think this class is hard a bit, but as I told, the teacher and students are so kind and nice, so NO WORRY!

• **Mass Communication**

This class is to understand the influence of mass media from a critical perspective. you will have an enhanced understanding of how the pervasive power of the media shapes culture, both in the U.S.A. and abroad. The course should increase your media literacy, which is composed of these elements: 1. the factual, 2. the aesthetic, 3. moral and 4. emotional awareness we possess about the mass mediums (books, etc.), which collectively we call “The Media.” This class is mostly we discussed about topics teacher gave us, but it’s hard a bit because students and teacher keep discussing without white board, but it’s not big deal. Regarding to the assignment and test, we need to submit my opinions for topics that teacher give us and reply to the mate’s opinions.

• **Public Speaking**

This class is mostly we do presentation about every week, but we need to go to listen some speeches to take grade. Regarding to the assignment and the test, the assignment is you need to submit descript for the presentation, on the other hand, the test is we need to take quiz about textbook.

• **Social Media**

They will:

1. Understand the history of social media;
 2. Recognize some usage differences in social network sites around the world.
 3. Be able to think critically about the changing relationship between social media, traditional media, journalism, and strategic communication;
 4. Think critically about some of the issues relating to social networks and social media;
 5. Think critically and entrepreneurially about how to apply trends in social media to your career;
 6. Be able to create a plan for the use of those sites as a complement to a specific project;
 7. Understand, discuss and write about social media within an ethical framework.
 8. Consider the use of the three P’s – people, place, and profit – as the basis for decision making
- We mostly discuss about topics teacher give us and do presentation every week. The assignment is to prepare presentation. The final exam is to submit presentation and the script.

⑥ **About our dormitory**

Dom in the university is clean, but I think using way of bathroom is not good, so I think it’s the best way to bring own slipper. Also, sometimes you feel annoyed for noisy because some students do party at night, but this depends on person. The meal is almost same every single day like hamburger, French fried and salad, so some my friends didn’t suit their tastes. I think it is better to get some foods that you like in convenience store near the school when you feel bored for the meal. What I like in these meals is sushi in once a week.

⑦ **Holiday**

I often went to trip like Boston, NY, California, and Portland on holiday. I got one thing that I hate when I went to somewhere. It is there is just only one bus stop far from school that it takes 20min by car and train station near the school that comes only once a day. Also, the airport that

takes 1 hour from the university by car, so it costs about \$100 if you go there by taxi. Don't forget not to catch the taxi like Uber often time because the place around the university is rural, so it's hard to catch them. I think the most important thing is to get a lot of experiences while you study in foreign country, so it's no big deal about transportation. Just for fun!!

⑧ Job searching

I often checked on career website to entry internship, and sometimes I took interview and internship in my room, but it's really hard time because I got time difference like 16 hours..., so most of time I took them at midnight. Also, I went to Boston Career Forum. This is we can take informational meeting and interview of a lot of kind foreign company as soon as possible. It would take at least 3 days that you can get job. I think it's one of the best ways to try it if you get time!!

II. brief comments

My feeling for this life

I really felt lonely as like I want to see my friends and my family when I arrived there first time, but the advisers who supported us took care of us so nicely and kindly. After that, I got along with my roomies and another international student who came from another Asia countries. Sometimes, we went to have dinner and lunch on weekends, also we got party at Friday night. One of my favorite time is to go to cafeteria near the school to do assignments and to go to gym in the morning with my roomies. She is so sweeties, and we are same type of personality. I already missed her, and I want to see her as soon as possible. The hardest time is I couldn't go somewhere whenever I wanted because my hobby is going shopping and going to cafeteria with my friend, and there are few transportations.

III. Advices for applicants for study abroad

I think you are already possible to expand your perspective since you decided to go to study abroad, so you should proud of your decision and brave. Probably, you'll face the most difficult situation to overcome like you wouldn't get what you want, but it's normal and actually it's best way to grow up yourself. Please keep going what you really want and catching up with what you want to be just the way who you are. Regarding to English skill, I improved speaking skill definitely than before because I don't feel any afraid of speaking in English with foreigners. The most important thing to improve your English skill is to hang out with who speak in English and to try to talk with them without fear. Also, I often watch movies what I like on Netflix with English subtitle when I get free time.

IV. My Goal for the future

I don't make sure what I would like to do in the future, but I got something if I have to decide it. I would like to get a job that I could be assigned after improving my career skills.

V. Memories

I went to Washington D.C. trip with freshman students right after moving to Mary Baldwin University. This is the first trip as orientation. You can choose which museum you want to go, and then you will be separated to some groups. I forget what museums there are, but it's better to look up about those museums before visiting there. After we arrived, we took a walk around the museum, and then we had lunch together. This picture was taken at the time, and we had sandwich lunch box with chatting each other. What are the most surprising things while we were talking is their average ages are 15 years old because some American students who already have some skills skip grade.



This is when we were invited to their home by my American friend's host family. We made hotdog by ourselves, and then we also celebrated American friend's birthday. Also, we played some games with their children with having smore that is famous in America. This every moment was priceless and beautiful time for me. I suggest it's better to join most things like birthday party or shopping whatever they invite you if I give you some advices.

This is when we went to school party. We got own dress for this party, and we took picture and had some snacks in this party. Some students who wanted to join came to this party and danced with music. by the way, this is not really big party, so it's better not to expect well, but it could be quite good memory for you. My advice is it's better to bring the dress and shoes that you want to wear from Japan if it's possible.



This picture is when I went to trip to NYC with my friend on Thanks Giving Day. My friend took me to ride on the helicopter to see all of NYC, and fortunately, we could see the most beautiful sunset from the sky. I've never ride on the helicopter, so this moment was the most beautiful time in my life. By the way, it takes about 3 hours from Virginia to NYC by plane, so you can trip if you are free on Thanks giving day or on vacation. One thing what I want to give you advice is you need to ask your friends to pick you up by bus stop because the bus stop is far from your university a bit, so it's better to be safe.

